

○日 時：平成30年3月24日（土）午後2時から

○場 所：熊本市国際交流会館 5階大広間A

戦争遺産フォーラムくまもと・ 新老人の会熊本支部「戦争を語り継ぐ会」 合同研修会・例会



大甲橋横の「熊本空襲慰霊碑」

1 開会挨拶



新老人の会熊本支部長
小山 和作

2-1(1) 「戦争遺産フォーラム くまもと」の活動



上村真理子さん資料「防諜貯金箱」

戦争遺産フォーラムくまもと
高谷 和生

戦争の証言や記憶、記録を 活字化、映像化、 データベース化する！





□戦後60年から、県内各地に戦争遺跡保存団体が発足
□戦後69年から1年をかけて意見交換・情報交換を行う

戦後69年から、熊本県内戦跡保存関係団体意見交換会とし

**「戦後70年に、
戦争遺産フォーラムくまもと」として発足**

荒尾二造変市民の会
(荒尾市)

熊本の戦争遺跡研究会
(熊本市)

人権NPO ちなもい
(八代市)

花房飛行場の戦争遺産を
未来につたえる会(菊池市)

**戦争遺産フォーラム
くまもと**

人吉・球磨の戦争遺跡を伝える
ネットワーク
(人吉市)

くまもと戦争遺跡・
文化遺産ネットワーク(玉名市)

平和憲法を活かす熊本県民の会
(熊本市)

合志の近代遺産を学ぶ会
(合志市)

個人参加
(熊本市・宇城市・合志市・玉名市)



地域の平和活動団体(生協くまもと)との“イノベーション”としての
「戦後70年 米軍資料から熊本空襲を考える！」講演会
熊本空襲への新視点、8／10空襲の実態解明

平成27年8月9日:熊本県民交流会館パレアホールにて、200人参加

戦後70年の取り組みが、10年に向けての方向性を示唆！



戦後70周年

- 熊日新聞特集記事 「伝えたい私の戦争」三年間企画
- 「平和を歩く 県内戦争遺産」特集記事、戦後70年、NIE・新聞活用センター特集記事「親子で巡ろう 県内戦跡マップ」
- 平和のバトン展 上村さん資料展、語り継ぐ会での「戦争体験を聞く会



□熊日・RKK・熊本市「平和のバトン展」郷土資料の展示 びふれす会館
□熊本県の戦後70年の節目行事は行われず。

「菊池飛行場ミュージアム」開館

啓発拠点・歴史検証・資料調査等
来場者からの「常施設設待望」の声



合志の近代遺産を考える会の設立



平成28年11月「第3回空襲・戦災・戦争遺跡を考える九州・山口地区集会 玉名大会」での九州内の連携



2019年8月「戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会」の開催



2－(2)

「戦争を語り継ぐ会」の活動

新老人の会熊本支部「戦争を語り継ぐ会」
安藤 富士記

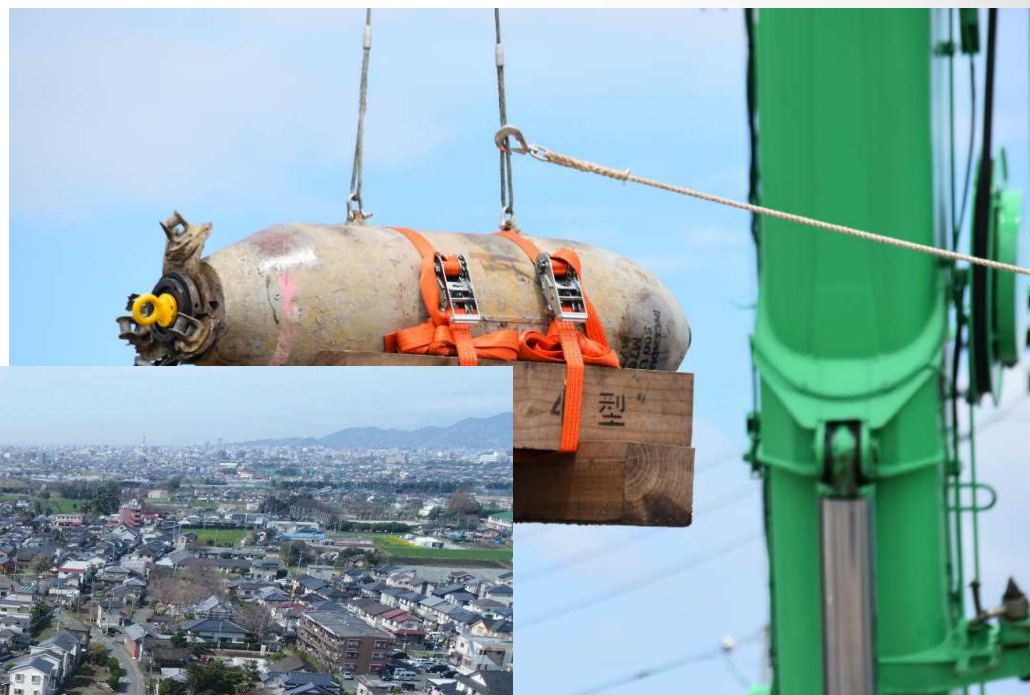
3 提案・説明

戦争と平和のミュージアム 「ピースくまもと(仮)」 設立骨子(案)

戦争遺産フォーラムくまもと
高谷 和生

最近、二つの出来事

熊本市画図町で不発弾「M76焼夷弾」と戸島本町での健軍飛行場掩体壕の発見



熊本に、戦争と平和のミュージアム設立に向けて

本会「戦争遺産フォーラムくまもと」は、熊本県内各地で空襲・戦災の調査・検証や慰霊を、そして戦争遺跡の調査・研究や保存活動を行う8団体の情報交換会としてスタートしました。平成27年5月から本名称に変更し、活動に協賛される個人にもご参加いただき、県内各地にその活動を広げてきました。

戦後70年の節目の年となる平成27年8月9日、県民に「熊本空襲の実相」を知っていただく機会として「戦後70年 米軍資料から熊本空襲を考える！」を、地域で平和活動を行っている事業所「生活協同組合 くまもと」と共催し、多くの共感を得ました。また同年7月、熊本日日新聞社・RKK熊本放送・熊本市が主催した「平和のバトン展」では、郷土の戦争遺跡・遺物等の展示、「県内戦争遺産を巡る旅」の証言者・案内人として、多くの県民の方々に、県内戦争遺跡や戦時資料を知っていただく機会となりました。

平成28年熊本地震以降は、戦争遺跡の復旧・復興を丁寧に進めながら「戦争の記憶を語り継ぎ、平和の大切さを学ぶ活動」の集大成として「熊本に、戦争と平和のミュージアム“ピースくまもと（仮）”」設立に向け、全国各地の平和資料館等の調査を行い内容検討を行ってきました。

戦後73年が目前となり、戦争の証言、その体験を語る方々も激減し、県民運動として、今、次世代に語り継ぐ事が急務です。

その協議結果を本骨子案として提案いたします。

「ピースくまもと（仮）」 の目指す三つの姿

1 項目 熊本空襲を調査・記録し、 未来に継承する！

- ①熊本空襲の被害の実態を調べ、記録し、語り継ぐ場
- ②犠牲者の慰霊の場
- ③平成7年熊本市平和都市宣言にそって、行政の公式慰霊行事につなげる場

昭和20年7月1日の「熊本大空襲から72年」

- 空襲被害の構図 「元軍人等は恩給・年金を支給したが、民間人の空襲被害者の救済は放棄した」 ※ドイツ・フランスは被害者補償
- 県・市での「被害の実態調査、追悼施設の設置」が必要
- 国の暴走を助ける「戦争被害受忍論」

「ピースくまもと（仮）」 の目指す三つの姿

2項目 熊本の戦争の歴史と その遺産に学ぶ！

- ①軍都熊本の「戦争の歴史」を学ぶ場
- ②県内の戦争遺産（戦争遺跡や戦時資料、地域づくり）の情報発信の場
- ③貴重な戦争体験「記憶の遺産」に学び、新たな観光「ダークツーリズム」の視点を活かした戦争遺産観光ガイドンスの場

「戦争の歴史」での学び、平和への願い、新たな学び

□球磨郡錦町での地域振興と観光集客（軍服コスプレ等）での危うさ

□「貴重な戦争体験」での沖縄や広島・長崎での学びの手法が必要では

「ピースくまもと（仮）」 の目指す三つの姿

3項目 次の世代が“学び！体験し！ ヒトに伝える！！”

- ①熊本の戦時資料を調査し、収集し、バーチャルミュージアムとして発信する場
- ②証言や語りを通して次の世代が、熊本の戦争の実相を学び、現在の戦争を考える平和学習の場
- ③十五年戦争全般に関わる5,000点に及び戦時資料・書籍等を通し、ユングマンプロジェクト等の体験学習にもからめ、次の世代に語り継ぐ場
- ④次世代の子ども達が「Peace Messengers」を発信する場



いま熊本に「平和のミュージアム設立」を

- 1 熊本空襲を調査・記録し、未来に継承する
- 2 熊本の戦争の歴史とその遺産を学ぶ
- 3 次の世代が「学び！ 体験し！ ヒトに伝える！！」



ホーム

未使用

未使用

未使用

未使用

未使用



新老人の会

▶ 熊本支部

▶ サークル紹介

戦争遺産フォーラムくまもと

▶ 事務局会

▶ 上村真理子 戦時資料室

▶ 三隅康貴 平和への発信

INFORMATION

2018-05-13 『ピースくまもと（仮）』設立準備会発会式を行います。
於 くまもと県民交流館パレア第一会議室

ピースくまもと（仮）設立準備会事務局から

戦後73年が目前となり、戦争の証言、体験を語る人々が激減し、いま戦争のない平和な社会を持続するためにも、この惨劇を次世代に語り継ぐ事が急務です。

私たちピースくまもと設立準備会事務局は、これまで新老人の会熊本支部「戦争を語り継ぐ会」並びに「戦争遺産フォーラムくまもと」事務局会を母体として、「戦争の記憶を語り継ぎ、平和の大切さを学ぶ活動」の大切さを認識し、戦争体験の証言会、聞き取り活動、体験の継承を、さらに県内に残された戦争遺産の調査保存、戦時資料の調査や公開、戦争遺産を通しての地域づくりを進めてきました。

本事務局会では、全国各地の平和資料館等の調査を独自に行い、その協議結果を取りまとめながら、いま熊本に平和のミュージアム設立の必要性を痛感しました。

今回、私たちは設立骨子・活動方針（案）等をとりまとめ「戦争と平和のミュージアム“ピースくまもと（仮）”」設立準備会を決定させます。

ピースくまもと（仮）設立準備会事務局 連絡先

- ・ 安藤富士記 新老人の会熊本支部「戦争を語り継ぐ会」 電話 096-339-2537
- ・ 高谷和生 戦争遺産フォーラムくまもと 携帯 090-1513-5528

▲ページのトップへ戻る

くまもと戦跡ネットHP内に「ピースくまもと（仮）」設立準備事務局会の紹介

<http://www.kumamoto-senseki.net/peace-kumamoto/>



「ピースくまもと(仮)」設立準備会での活動として

- 戦後70年の年に、熊日・熊本放送他「平和を歩く 戦争遺産の旅」の様な
「見学会」ができないか！ ※参考資料「水俣で学ぶ旅」
- 上村さんの資料を見る、「展示会」ができないか！
- 語り継ぐ会で「戦争体験や証言を聞く会」ができないか！

○日 時：平成30年3月24日（土）午後2時から
○場 所：熊本市国際交流会館 5階大広間A

私と戦時資料との出会い



上村 真理子氏（宇城市）

5 意見交換

- (1) 新老人の会「戦争を語り継ぐ会」と「戦争遺産フォーラムくまもと」を母体としてその骨子を固める。
- (2) 平成30年3月24日以降は、戦争と平和のミュージアム「ピースくまもと(仮)」設立準備事務局会へ移行する。そこでは設立趣意書等も作成し、賛同者を募り活動内容等を広く協議する。
- (3) それに向けて、自由な意見交換を！

戦争と平和のミュージアム
「ピースくまもと（仮）」を



6 意見の紹介・集約・ 設立に向けて

7 閉会挨拶

戦争遺産フォーラムくまもと
戸寄 孝行